



運動会 大成功！

11月28日（土）、全校児童が一緒になって参加した運動会が無事終了しました。保護者やPTA役員・担当者の皆様方のご理解・ご協力をいただきましたお陰で混乱もなく、滞りなく開催することができました。本当にありがとうございました。

今年度は、“午前中で終了、マスクを着用しての競技参加、徒競走・学年種目のみ”の運動会になりましたが、子どもたちは、元気よく運動会に参加し楽しんでくれたと思っています。

運動会当日、保護者の皆様方からは、「開催できてよかった！」「受付もスムーズに入れてよかった。」「保護者の人たちも、きちんと協力していたと思う。」「表現のよなものも入っていて楽しかった。」など、うれしい声を聞かせていただきました。

次年度については、コロナの感染拡大が見通せない状況にありますが、熱中症のことや台風シーズンを避けるなどを考慮し、時期を決定していきたいと考えております。



◆◆◆ 連絡 & お願い ◆◆◆

○令和3年1月16日（土）は、午前中のみの土曜授業を実施します。

○令和3年2月3日（水）は、新入生児童保護者を対象に入学説明会を実施します。

○本年度の卒業式は、令和3年3月19日（金）午前を予定しています。

*保護者の参列は、現時点では、昨年度と同様2名までを予定しています。

●ご家族の方が、PCR等の検査を受けることになった場合、至急学校へも連絡をください。くれぐれもお願いいたします。

白子中学校区 「人権フォーラム」開催！

12月1日（火）午後、本校に旭が丘小学校、稲生小学校、白子中学校から37名の代表者が集まり、「安心して自分の思いを伝えあえる集団をめざして」というテーマで話し合いを持ちました。

4つのグループに分かれ、中学生の司会・進行のもと、“うわさ・誹謗中傷に惑わされない態度や考え方”“本当の友だちや絆をつくるための考え方・取組等”について熱心な意見が交わされました。「人権フォーラム」のまとめとして以下のことが確認されました。

- ①本音を出し合えるようになりたい。そのために「嫌われたらどうしよう」という自分勝手な思いをなくして、お互いが自分の考えを伝え合えるようにしていきましょう。
- ②人それぞれに個性がある。決めつけて人を判断するのではなく、仲間に寄り添い、何かあったらみんなで解決していく、そんな安心できる雰囲気を作っていくようにしましょう。
- ③仲間との絆をさらに深め、最高の卒業式を作りあげるとともに、新しい中学校生活に向けて、「安心して思いを伝え合える集団づくり」に取り組みしましょう。



「やってよかった！」ノーメディアデー！

10月12日（月）、13日（火）、14日（水）の3日間、全校一斉にノーメディアデーを実施しました。保護者の皆様からいただいた感想文を掲載いたします。多くのご家庭で実施され、保護者の皆様から「この取組は有意義だった。継続的に行うべきだ」という感想が寄せられています。



第2回目のノーメディアデーを12月中に、第3回目を2月中に実施したいと考えています。この機会にご家庭でもいろいろな取組をお願いいたします。

～保護者感想文から～

- 普段は、ゲームやテレビを見て過ごす事が当たり前になっていましたが、ノーメディアアチャレンジによって本を読んだり、会話が aumentari と、違う過ごし方を改めて見直すいい機会になりました。
- 家族で会話をする時や一緒に居る時間を大切にできたと思います。いつもより息子と話をする時間が増えて良かったです。

○早寝早起きや宿題も早い時間からしてくれて、物事がスムーズに出来てすごく良かったです。テレビを見られないのは、ニュースや情報が入ってこないのが不便ですが、それ以外は、ない方が会話も増えて良かったので、週1回でも、そういう日を作りたいと思いました。

○いつもはしない様な遊びを見つけてやってみたり、就寝が早くなったり、こんな日が

もっと多くあればいいなと思いました。

○とても良い取り組みだと思います。定期的に行って頂きたいです。

○いつもテレビを見て過ごす事が多いのですが、この3日間は、弟と相談して工作をしたり、それぞれが集中して本を読んだりして過ごすことが出来ました。特に、火、水の2日間は、完全にノーメディアを達成できて良かったです。

○まだ2年であるが、子どものメディア利用を止められなかった。こういった取組を定期的に行ってほしい。

○思いのほか良かったです。間違いなく家族の会話が増えました。

テレビやスマホを見ない、ゲームをしない、ネットを見ない等に取り組むことで家での過ごし方を考えるきっかけづくりにつなげていってほしいと思っています。



◆「ストロー笛で学んだこと

昨日(4日), ストロー笛を見て, ぼくは非常に大事なことを話していたとおもいます。それは, ストロー笛を40年以上やっている神谷徹さんが「もっとストロー笛を改良したいと, 40年以上続けてきた。」と言っていて, ぼくは改めて「常に探求心」というものが大事なんだなあと分かりました。その話の中でもう一つ大事なことがありました。それは, 「すごいな。」で終わらせないことだとわかりました。ぼくは, 「すごいな。」で終わっている時が多いなとおもいました。これからは, 「すごいな。」の次に, 「だから, やってみよう。」をやってみようとおもいました。

◆「ストロー笛の研究を30年ほどして